

車両デザインの検討について

新型車両の基本仕様の検討に並行して、今後車両デザインについても検討

1 検討内容

車両の内外装のデザイン案の検討

※写真はすべて参考イメージ

(1) 車両の前面デザイン



JR 東海 HC-85 系
(2023 年ブルーリボン賞※)



相模鉄道 20000 系
(2018 年グッドデザイン賞)



大阪市高速電気軌道 400 系
(2024 年ローレル賞)

※【ブルーリボン賞（最優秀賞）・ローレル賞（優秀賞）】

日本の鉄道車両の進歩発展に寄与することを目的に、鉄道友の会が毎年選定している。前年に日本国内で営業運転を正式に開始した新造および改造車両が対象

※【グッドデザイン賞】

産業の発展とくらしの質を高めるデザインを、身の回りのさまざまな分野から見だし、広く伝えることを目的として、日本デザイン振興会が毎年選出している。鉄道に限らず、広範な分野の「もの」「こと」が対象

(2) 車体のカラーリング



あいの風とやま鉄道
「とやま絵巻」



東京メトロ銀座線 1000 系
(開業当時の車体色を表現)

(3) 内装



阪急電鉄



相模鉄道 9000 系



東京メトロ銀座線 1000 系

2 スケジュール

令和 6 年 9 月頃から作業チームにおいて検討を開始（年度内を目途にとりまとめ）